



一般的な注意：理論試験

理論試験の時間は5時間であり、配点は30点である。

試験開始と終了の合図は音声でなされる。試験開始を報せる音が鳴るまで、問題が入った封筒を開けてならない。1時間毎に経過時間を報せるアナウンスがあり、試験終了の15分前にもアナウンスがある。

試験中

- 支給されたペンだけを使用すること。
- 最終的な答えは、Aと書かれた専用の解答用紙に記載すること。詳細な解法を書くためのWと書かれた白紙のワーキングシートも用意されている。必ずその時解いている問題に附属したワーキングシートを用いること（ヘッダーの問題番号をチェックすること）。解答した内容で採点を望まない部分があれば×を付けること。全てのページについて、表側のみを使用すること。
- 解答はできるだけ簡潔に書くこと：自分の考えを説明する際には、式、論理記号、図、を可能な限り用いること。長文の使用は避けること。
- 前の方の問題を解かなくても後ろの方の問題を解ける場合がある。
- 許可なく机を離れないこと。助けが必要な場合には、与えられた旗を用いてスタッフに知らせること。（トイレに行きたい時は“WC”，水が欲しい時は“H2O”，紙が欲しい時やその他の助けが必要な場合には“Help!”を用いよ。）

試験終了時

- 試験が終了したら、ただちに答案を書くことをやめなければならない。
- それぞれの問題に対して、次の順番で用紙を並べ替えなさい：表紙（C）が一番上であり、問題（Q）、解答用紙（A）、ワーキングシート（W）の順で並べ、白紙や余分な用紙（Z）が一番下である。
- 1つの大問に対応する全ての用紙を同じ封筒に入れること。白紙についても提出すること。封筒の透明窓から student code が見えるようにすること。用紙が入った各問題の封筒と、この「一般的な注意」の紙を、大きな封筒に入れること。試験会場からは、いかなる紙も持ち出してはならない。
- 筆記用具は机においていくこと。
- 封筒が回収されるまで、自分の机で待っていること。回収後、試験会場の外へ案内される。